

栃木県内における病原体サーベイランスの状況

栃木県及び宇都宮市では感染症発生動向調査事業として、病原体サーベイランスを実施しています。

病原体サーベイランスの対象となる疾病は、1類から5類の全数把握疾病(一部の疾患を除く)および5類定点把握疾病(性感染症・薬剤耐性菌感染症を除く)です。5類定点把握疾患は、指定された県内20カ所の病原体定点医療機関(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点・基幹定点)で診断された患者の検体を対象としています。

令和6(2024)年7月分

(1) 病原体検出状況一覧(保健環境センター提出分)

No.	年齢	臨床診断名	材料の種類	検査方法	成績
1	80歳代	レジオネラ症	喀痰	分離培養(人工培地)、 抗原検出等(凝集反応)	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1
2	乳児	RSウイルス感染症	鼻汁	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	RSウイルスA型 ヒトラインウイルス遺伝子群A(HRV-A78)
3	幼児	手足口病	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
4	乳児	手足口病	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
5	乳児	手足口病	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
6	乳児	手足口病	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
7	乳児	手足口病	うがい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
8	70歳代	EHEC感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出等(凝集 反応)、遺伝子検出(LAMP法)	腸管出血性大腸菌O型別不能 VT1(+) VT2(-)
9	小学生	手足口病	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
10	幼児	手足口病	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
11	幼児	手足口病	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
12	乳児	手足口病	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
13	幼児	手足口病	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
14	60歳代	侵襲性インフルエンザ菌 感染症	菌株	分離培養(人工培地)、 抗原検出等(凝集反応)	<i>Haemophilus influenzae</i> 莢膜型別不能
15	幼児	ヘルパンギーナ	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
16	乳児	手足口病	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
17	乳児	手足口病	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
18	乳児	手足口病	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
19	乳児	手足口病	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
20	乳児	手足口病	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
21	乳児	手足口病	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
22	乳児	手足口病	咽頭ぬぐい液	遺伝子検出(PCR、Sequence解析)	コクサッキーウイルスA群6型
23	70歳代	CRE感染症	菌株	分離培養(人工培地)、遺伝子検出 (PCR)、ディスク拡散法	CRE:カルバペネマーゼ非産生株

No.	年齢	臨床診断名	材料の種類	検査方法	成績
24	60歳代	レジオネラ症	喀痰	分離培養(人工培地)、 抗原検出等(凝集反応)	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1
25	80歳代	侵襲性肺炎球菌感染症	菌株	分離培養(人工培地)、 抗原検出等(凝集反応)	肺炎球菌 血清型15B
26	60歳代	レジオネラ症	喀痰	分離培養(人工培地)、 抗原検出等(凝集反応)	<i>Legionella pneumophila</i> 血清群1
27	20歳代	EHEC感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出等(凝集 反応)、遺伝子検出(LAMP法)	腸管出血性大腸菌O157 VT1(-)VT2(+)
28	60歳代	EHEC感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出等(凝集 反応)、遺伝子検出(LAMP法)	腸管出血性大腸菌O103 VT1(+)/VT2(-)

(2) 病原体検出状況一覧(宇都宮市衛生環境試験所提出分)

No.	年齢	臨床診断名	材料の種類	検査方法	成績
1	80歳代	CRE感染症	菌株	分離培養(人工培地)、遺伝子検出 (PCR)、ディスク拡散法	CRE:カルバペネマーゼ産生株(IMP型)
2	70歳代	劇症型溶血性レンサ球菌 感染症	菌株	分離培養(人工培地)、 抗原検出(凝集反応)	A群溶血性レンサ球菌T1型
3	40歳代	EHEC感染症	菌株	分離培養(人工培地)、抗原検出(凝集 反応)、遺伝子検出(LAMP)	腸管出血性大腸菌O157 VT1(-)VT2(+)
4	20歳代	劇症型溶血性レンサ球菌 感染症	菌株	分離培養(人工培地)、 抗原検出(凝集反応)	A群溶血性レンサ球菌T13型